

(数 学) 科 (数 学 I) 学 習 指 導 案

日 時	平成19年5月25日(金)第1限		指導者	(省略)	
学 級	商業科 1年 9組		教 室	313 教 室	
単 元	第1章 数と式		教科書	新数学 I (啓林館)	
単元目標	数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに、1次不等式及び2次方程式についての理解を深め、それらを活用できるようにする。		指導計画	第1章 1 整式 2 整式の乗法 3 因数分解 4 実数 ……本時はその1時間目 5 不等式 6 2次方程式	
主 題	実数		課 題	予習プリント (分数を小数で表す)	
目 標	1 循環小数が分数で表せることを理解させ、有理数・無理数の意味を理解させる。 2 実数がどのように構成されているか理解させる。 3 数直線との対応による、実数の表現について理解させる。				
	学 習 内 容		時間	指導上の留意点・評価の観点	資料等
本 時 の 指 導 過 程	導 入	1 予習課題の解答をする。	5分	・課題プリントを解答させる。 <i>関心・意欲・態度</i> 課題予習ができているか。	課題 プリント
		2 本時の目標を説明する。	5分		
	展 開	1 有限小数、循環小数について説明する。	5分	・割算の筆算から、無限小数にも分数で表すことができる循環小数があることを認識させる。 ・循環節の記号「 \cdot 」に慣れさせる。	
		2 循環小数が分数で表示できることを説明する。	10分	<i>関心・意欲・態度</i> 教科書で扱ってない事柄だが、関心をもって理解に努めているか。 <i>表現・処理</i> 理解が正しくできているか。	
		3 自然数・整数・有理数・無理数実数について説明する。	10分	・数の範囲について、四則演算の結果がその数の範囲に入らない例を具体的に考えさせながら、数の範囲の拡張の意味をとらえさせる。	
整 理	4 数直線について説明する。	10分	・任意の実数に対して数直線上の点がただ1つ定まることを理解させる。		
	1 本時のまとめをする。	5分	・ 本時の学習内容を確認させる。		
	2 次時の予告をする。		・ 次時の予告をする。		
次時の課題	・平方根の計算の予習プリントを解いてくる。				
備 考	生徒数 40名 (男子 7名, 女子33名)				